

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年4月22日

【2019年4月13日～2019年4月19日までの推移】

### 【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。4月17日（現地、以下同様）に予定されていた、年金改革法案の下院憲法司法委員会での票決が延期されたことなどから、ブラジル・レアルは売られました。

先週17日に予定されていた下院憲法司法委員会での票決は、4月23日に延期されました。同委員会審議が開始されてから、既に1カ月以上が経過しており、当初市場が想定していたスピード感で審議が進展していないことが徐々に市場の重石となりつつあります。

経済指標に関しては、2月の経済活動指数などが発表されました。2月の経済活動指数は前月・前年比ともに市場予想を下回りましたが、材料視されませんでした。また、ブラジル連邦政府は、昨年続く大型ストライキ実施を仄めかしているトラック業界の不満を抑えるため、トラック業界限定で5億レアルの融資を行うこと、インフラ省に20億レアルを融通し、国道整備などを行うことを発表しました。昨年5月に発生したトラック運転手によるストライキがブラジル経済に深刻なダメージを与えたことから、政府はトラック運転手の不満の解消に腐心しています。

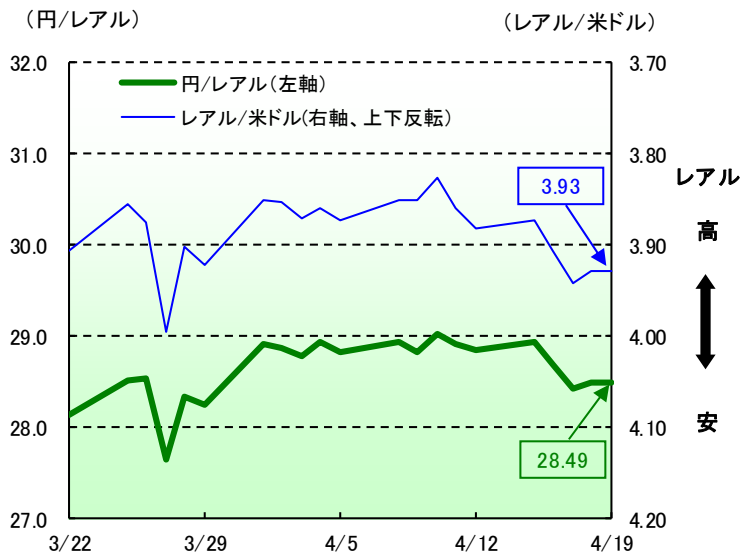
### 【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

年金改革法案に関しては、4月23日に延期された下院憲法司法委員会での票決に注目が集まりそうです。票決は問題なく通過するとみられていますが、遅々として進まない審議に市場はしびれを切らしはじめており、票決の内容次第（過半数ぎりぎりでの通過など）では市場の不信を買う可能性があるため、その内容にも注目が必要と考えます。また、トラック運転手のストライキについても、いまだストライキ実施の可能性が仄めかされていることから、今後、注意が必要と考えます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2019年3月22日～2019年4月19日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2019年3月22日～2019年4月19日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>